

平成30年度事業報告書

1. 法人の概況	1ページ～3ページ
2. 公益目的事業	
【 総務部・業務報告 】	4ページ～9ページ
【 供給部・業務報告 】	10ページ～13ページ
【 血漿分画促進部・業務報告 】	14ページ
3. 収益事業	
【 収益事業等の業務内容について 】	15ページ
4. 附属明細書	16ページ～17ページ

1. 法人の概況

1. 設立年月日

昭和42年1月23日

2. 主たる事務所の状況

主たる事務所:東京都武蔵野市境南町一丁目26番1号

3. 定款第3条に定める目的

本事業団は、血液由来製剤等を必要とする患者、医療関係者及び医療機関に対し総合的な血液供給事業を行い、献血血液による血液事業の円滑かつ適正な推進及び発展に寄与することを目的とする。

4. 定款第4条に定める事業内容

- (1) 血液由来製剤(その代替製剤を含むものとし、以下「血液製剤」という。)等の供給
- (2) 血液製剤の需給に関する調査、研究
- (3) 医療機関への血液製剤に関する情報提供
- (4) 医療機関に対する血液製剤の適正使用のための啓発
- (5) 献血思想の普及向上のための活動
- (6) 献血血液の有効利用のための研究及び実践
- (7) その他本事業団の目的を達成するために必要な事業

5. 所管官庁等

公益認定申請に関すること : 内閣府

血液事業に関すること : 厚生労働省

6. 役員等に関する事項

- (1) 理事及び監事に関する事項(平成31年3月31日現在)

理事

定数 6人以上15人以内

現在数 常勤 3名 非常勤 9名 計12名

監事

定数 2人以内

現在数 常勤なし 非常勤 2名 計 2名

役 職	氏 名	常勤 非常勤の別	職 業
会長 (代表理事)	笹川 堯	非常勤	元 衆議院議員
理事長 (代表理事)	北田 靖則	常勤	
専務理事 (代表理事)	松崎 政治	常勤	
理事	浅野 茂隆	非常勤	東京大学名誉教授 神戸大学大学院医学系研究科連携大学院システム病態学講座客員教授 早稲田大学 招聘研究教授
理事	猪口 正孝	非常勤	公益社団法人 東京都医師会 副会長
理事	加藤 恒生	非常勤	日本赤十字社 東京都赤十字血液センター 所長
理事	後藤 明	非常勤	株式会社日赤振興会 専務取締役 元 日本赤十字社 東京都支部 事務局長
理事	笹川 和弘	非常勤	社会福祉法人親孝行の里 理事長 関東開発株式会社 代表取締役会長
理事	須藤 尚義	非常勤	元 日本赤十字社 血液事業本部経営会議委員
理事	田原 良三	常勤	事務局長(兼務)
理事	中西 英夫	非常勤	日本赤十字社 血液事業本部総括経営会議委員
理事	比留間 潔	非常勤	比留間医院 院長 元 都立駒込病院 輸血・細胞治療科部長
監事	吹浦 忠正	非常勤	社会福祉法人 さぼりと21 理事長 元 埼玉県立大学 社会福祉学部教授
監事	金本 敏男	非常勤	公認会計士 金本敏男事務所 所長

(2)評議員に関する事項(平成31年3月31日現在)

定数 6人以上15人以内

現在数 常勤なし 非常勤 11名 計 11名

役職	氏名	常勤 非常勤の別	職業
評議員	大平 勝美	非常勤	社会福祉法人はばたき福祉事業団 理事長
評議員	大給 乗龍	非常勤	株式会社日赤振興会 代表取締役 元 日本赤十字社 総務局長
評議員	小松 博久	非常勤	前 公益財団法人献血供給事業団 理事長
評議員	笹川 善弘	非常勤	公益財団法人マリンスポーツ財団 理事長
評議員	中川原 米俊	非常勤	日本赤十字社 東京都支部 事務局長
評議員	中島 一格	非常勤	日本赤十字社 血液事業本部経営会議委員 日本赤十字社 関東甲信越ブロック血液センター 所長
評議員	橋爪 章	非常勤	社会医療法人弘恵会 ヨコクラ病院 医師 元 保険医療経営大学 学長
評議員	花井 十伍	非常勤	特定非営利活動法人 ネットワーク医療と人権 理事
評議員	林 いづみ	非常勤	桜坂法律事務所・弁護士
評議員	前野 一雄	非常勤	独立行政法人 地域医療機能推進機構 理事 元 読売新聞東京本社 編集委員
評議員	湯浅 晋治	非常勤	順天堂大学 名誉教授 日本赤十字社 血液事業本部 相談役

2. 公益目的事業

【 総務部・業務報告 】

1. 車両整備及び設備等

(1) 車両整備

(ア) 車両更新状況

平成30年度は緊急車両12台、普通車両4台の代替更新を行った。

	平成30年3月31日現在 保有車両台数	平成30年度 廃車	平成30年度 更新	平成31年3月31日現在 保有車両台数
緊急車両	56台	12台	12台	56台
普通車両	18台	4台	4台	18台
合計	74台	16台	16台	74台

(イ) 車両配備状況

	本部	供給部	辰巳支所・ 血漿分画促進部	立川支所	葛飾支所	血漿分画促進部 事業課 埼玉出張所	合計
緊急車両	—	23台	13台	15台	5台	—	56台
普通車両	1台	1台	11台	1台	1台	3台	18台

(2) 無線設備

(ア) 基地固定局・移動局配備状況

① 基地固定局 6箇所

1: 本部 2: 供給部(新宿) 3: 立川支所 4: 辰巳支所 5: 葛飾支所

6: 血漿分画促進部事業課 埼玉出張所

② 移動局

・搭載車両 64台

・防災用携帯機 11台

(イ)無線機保有台数

	デジタル(GPS)無線機	アナログ無線機
基地固定機	8台	1台
移動(車載)機	64台	18台
防災用携帯機	6台	5台
予備	1台	2台
合計	79台	26台

(3)ドライブレコーダー配備(搭載)状況

	本部	供給部	辰巳支所・ 血漿分画促進部	立川支所	葛飾支所	血漿分画促進部 事業課 埼玉出張所	合計
搭載(緊急) 車両	—	23台	13台	15台	5台	—	56台
搭載(普通) 車両	1台	1台	10台	1台	1台	3台	17台

(4)テレマティクス配備(搭載)状況

	本部	供給部	辰巳支所・ 血漿分画促進部	立川支所	葛飾支所	血漿分画促進部 事業課 埼玉出張所	合計
搭載(緊急) 車両	—	23台	13台	15台	5台	—	56台
搭載(普通) 車両	1台	1台	11台	1台	1台	3台	18台

(5)供給管理システム機器配備状況

	本部	供給部	辰巳支所	立川支所	葛飾支所	合計
PC	1台	5台	3台	3台	2台	14台
モニタ	1台	7台	4台	5台	3台	20台
ハンディ端末	1台	28台	17台	18台	7台	71台

2. 職員の採用及び教育研修

(1) 職員数

		平成 30 年 3 月 31 日現在	平成 31 年 3 月 31 日現在	平成 31 年 4 月 1 日現在
職員数		134 名	136 名	138 名
内訳	男性正職員	112 名	116 名	118 名
	女性正職員	17 名	15 名	15 名
	男性嘱託職員	4 名	4 名	4 名
	女性嘱託職員	1 名	1 名	1 名

(2) 平成 30 年度採用・退職 職員数

	採用職員	退職職員
男性正職員	8 名	4 名
女性正職員	0 名	2 名
男性嘱託職員	1 名	1 名
女性嘱託職員	0 名	0 名
合計	9 名	7 名



(3)教育研修

研修種別	実施月	研修テーマ・内容		主催・講師等	参加人員
業務関連	4・2・3月	新入職員研修	新入職員として必要な知識の習得	総務部企画課	8名
	10月	二級主任研修	入団後2年経過した職員として必要な知識の習得	総務部企画課	1名
	随時	インシデントレポート報告研修	インシデントレポート事例報告および分析	献血供給事業団供給過誤防止委員会	121名
	随時	SOP教育訓練	標準作業手順書の改訂	献血供給事業団供給問題検討委員会 SOP作業部会	108名
	随時	業務関連研修	人事・労務・会計業務関連研修	全国公益法人協会他	10名
	通年	GMP教育訓練	輸血用血液製剤の出庫研修他	東京都赤十字血液センター	28名
	通年	人事異動者対象教育訓練	輸血用血液製剤の取り扱い他	東京都赤十字血液センター	22名
	通年	職員研修	ビジネススキル関連他	トーマツ イノベーション	34名
安全運転	4・2・3月	自動車安全運転研修	新入職員コース	東急自動車学校	8名
	5・1月	緊急自動車安全運転研修	一般緊急自動車運転技能者コース	自動車安全運転センター	4名
	6月	自動車安全運転研修	安全運転指導者コース	レインボーモータースクール和光	2名
	8月	緊急自動車安全運転研修	緊急自動車安全運転教室	警視庁交通安全教育センター	2名
	9～1月	自動車安全運転研修	定期研修コース	東急自動車学校	20名
	10月	交通安全運転講習	交通安全運転講習会	東京都赤十字血液センター、損保ジャパン日本興亜	92名
防災	6・12月	防災研修	日本赤十字社職員対象災害救護訓練	日本赤十字社東京都支部	2名
医薬品	6月	血漿分画製剤研修	血漿分画製剤の知識	日本血液製剤機構	55名
	9月	営業所管理者研修	医薬品・医療機器等法および品質管理	日本医療機器テクノロジー協会	5名
	3月	医薬品・高度管理医療機器等の研修	医薬品・高度管理医療機器等の適正管理	営業所管理者	123名
学会・セミナー	5月	第66回日本輸血・細胞治療学会(栃木)	チーム医療とイノベーション	日本輸血・細胞治療学会	6名
	9月	血液事業研修	血液事業の現状と将来の展望	花井十伍氏(ネットワーク医療と人権 理事、献血供給事業団 評議員)	49名
	10月	第42回日本血液事業学会総会(千葉)	持続と変革—カイゼンの先への挑戦—	日本血液事業学会	14名
	11月	第17回東京都輸血療法研究会	輸血有害事象の予防と治療、輸血の安全対策	東京都福祉保健局、東京都赤十字血液センター	10名
	2月	平成30年度赤十字血液シンポジウム関東甲信越	輸血後細菌感染の現状と対策	日本赤十字社 関東甲信越ブロック血液センター	11名

(4)受け入れ研修

安全運転	通年	日本赤十字社職員対象緊急車両走行訓練(東京都支部)	緊急走行時に必要な知識・技術の習得	献血供給事業団供給部供給課	9名
------	----	---------------------------	-------------------	---------------	----

3. 輸血用血液の供給にかかる業務委託契約

- ・日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センターとの上記契約による手数料については、次により契約実施した。

4. 調査研究及び広報普及事業

(1) 学会における演題の発表

第 42 回日本血液事業学会総会

於 : 幕張メッセ 国際会議場

会期 : 平成 30 年 10 月 2 日～10 月 4 日

演題① : 「供給管理システムの開発と導入について」

演者 : 総務部総務課 係長 渡辺 隆之

発表 : 平成 30 年 10 月 2 日

発表形式 : シンポジウム「供給体制の変革－医療機関との連携－」

演題② : 「テレマティクスサービスを活用した安全運転への取り組み」

演者 : 総務部総務課 主任 大野 弘太郎

発表 : 平成 30 年 10 月 2 日

発表形式 : ポスター発表

(2) その他、日常供給業務を通じた広報

(ア) 献血ルームにおける献血者への協力呼びかけ

① 夏季(7 月 4 日、5 日、10 日、11 日) 述べ 8 名

② 冬季(2 月 5 日、7 日) 述べ 4 名

(イ)各団体への献血協力依頼

- ①国会議事堂内献血:衆議院 平成 30 年 4 月 18 日(献血者数 133 名)
- ②笹川記念館:6 階会議室 平成 30 年 10 月 11 日(献血者数 73 名)
- ③国会議事堂内献血:参議院 平成 30 年 10 月 30 日(献血者数 124 名)
- ④笹川平和財団ビル前 平成 30 年 11 月 6 日(献血者数 24 名)

(ウ)献血推進ステッカーの作成 140 枚

緊急車両 56 台、普通車両 7 台に表示

(エ)緊急車両のデザイン変更

緊急車両 10 台のデザイン変更

(オ)広報用カレンダーの作成・配布

- ①木製カレンダー1,110 枚(授産製品:社会福祉法人より購入)
- ②卓上カレンダー370 冊

(カ)サマーキャンプへの参加

むさしのヘモフィリア友の会 サマーキャンプ(荻窪病院)

平成 30 年 8 月 4 日~8 月 5 日(職員 2 名 参加)

5. 防災訓練

防災訓練の参加及び実施

- ①東京都・中央区・港区合同総合防災訓練参加 平成 30 年 9 月 2 日
(職員 6 名 車両 2 台 参加)
- ②献血供給事業団自主防災訓練実施 平成 30 年 9 月 4 日
- ③八王子市総合防災訓練参加 平成 30 年 10 月 28 日
(職員 3 名 車両 1 台 参加)

東京都・中央区・港区合同総合防災訓練



緊急医療物資搬送訓練



緊急車両展示

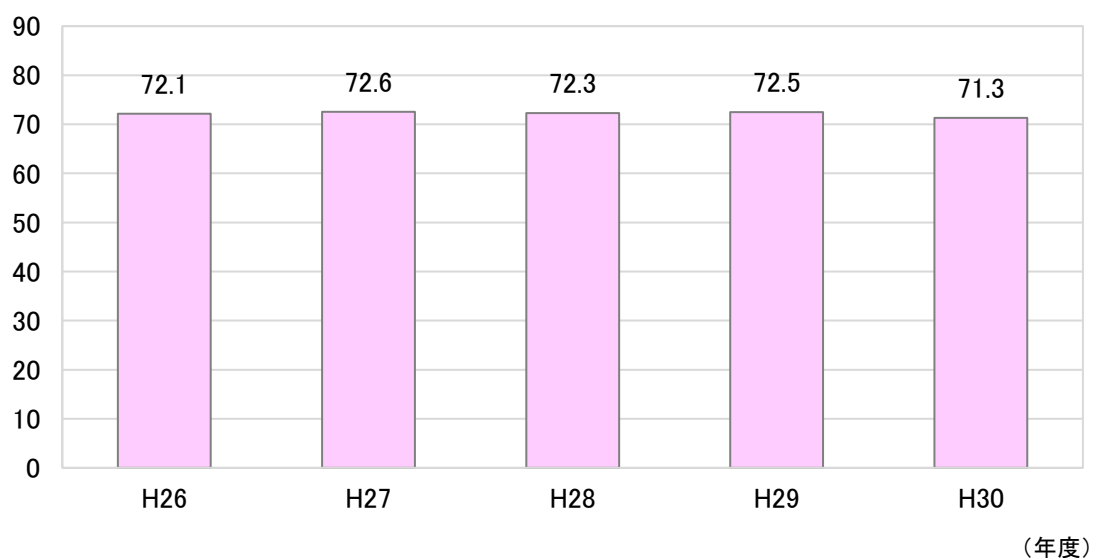
【 供給部・業務報告 】

1. 輸血用血液製剤供給実績

(1) 赤血球(単位換算)

平成30年度 712,892単位

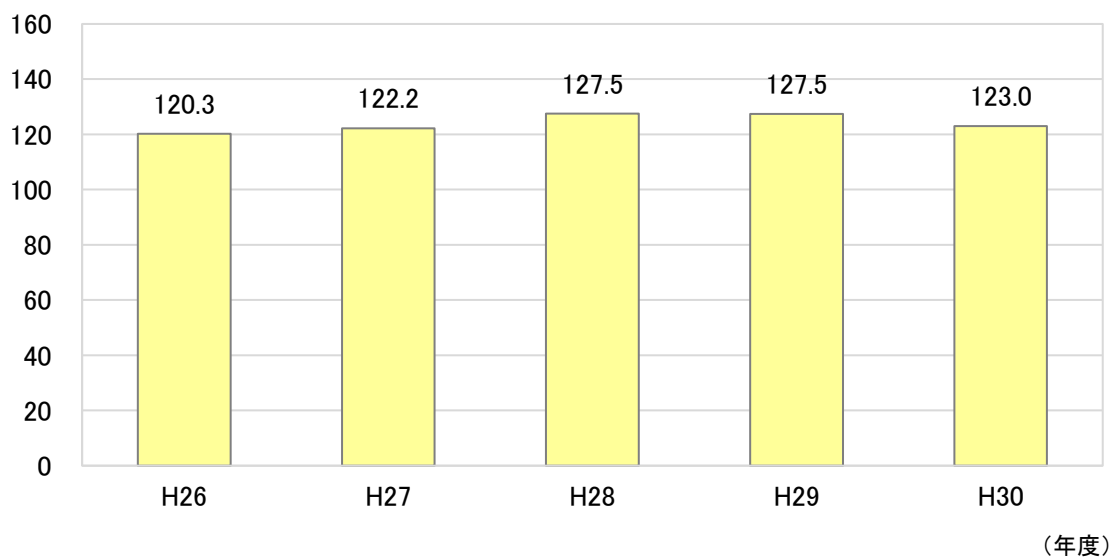
(万単位)



(2) 血小板(単位換算)

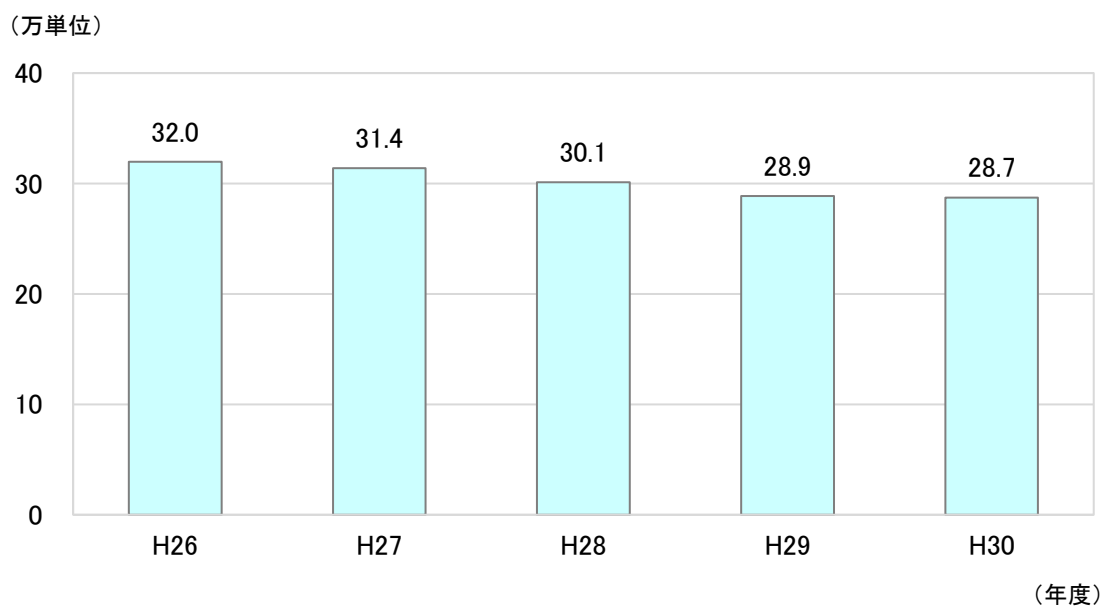
平成30年度 1,230,142単位

(万単位)



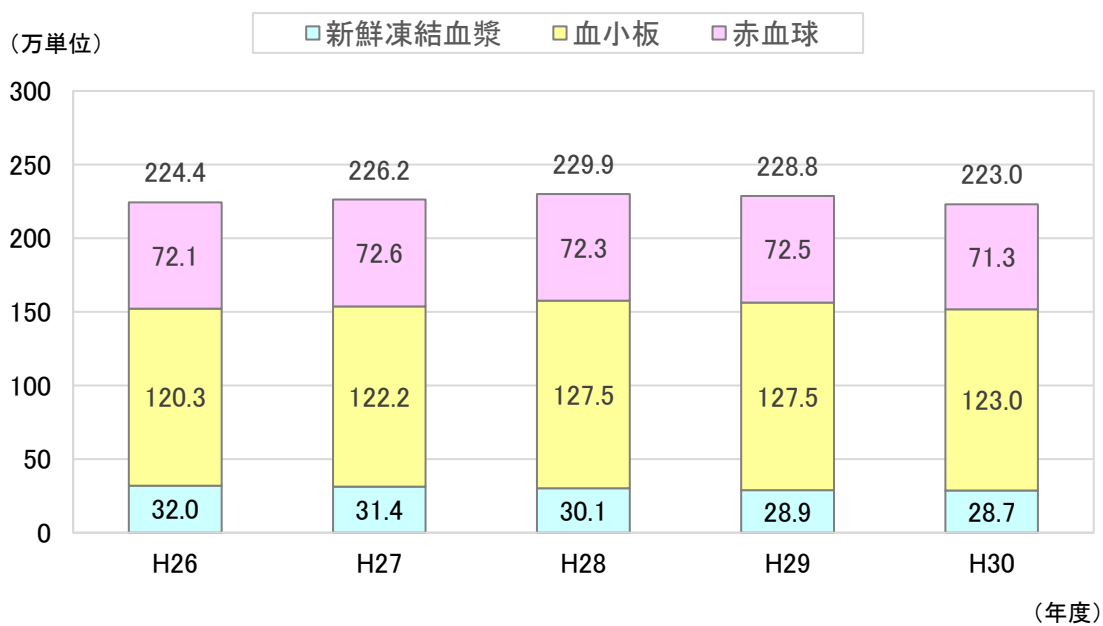
(3) 新鮮凍結血漿(単位換算)

平成30年度 287,327単位



(4) 総供給数(単位換算)

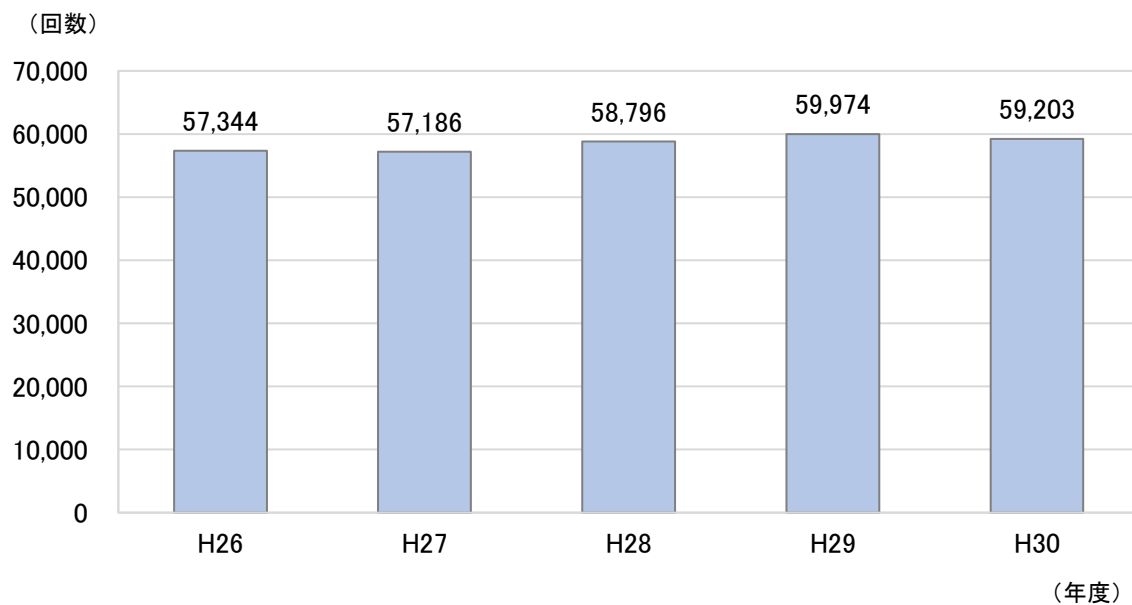
平成30年度 2,230,361単位



2. 供給出動状況

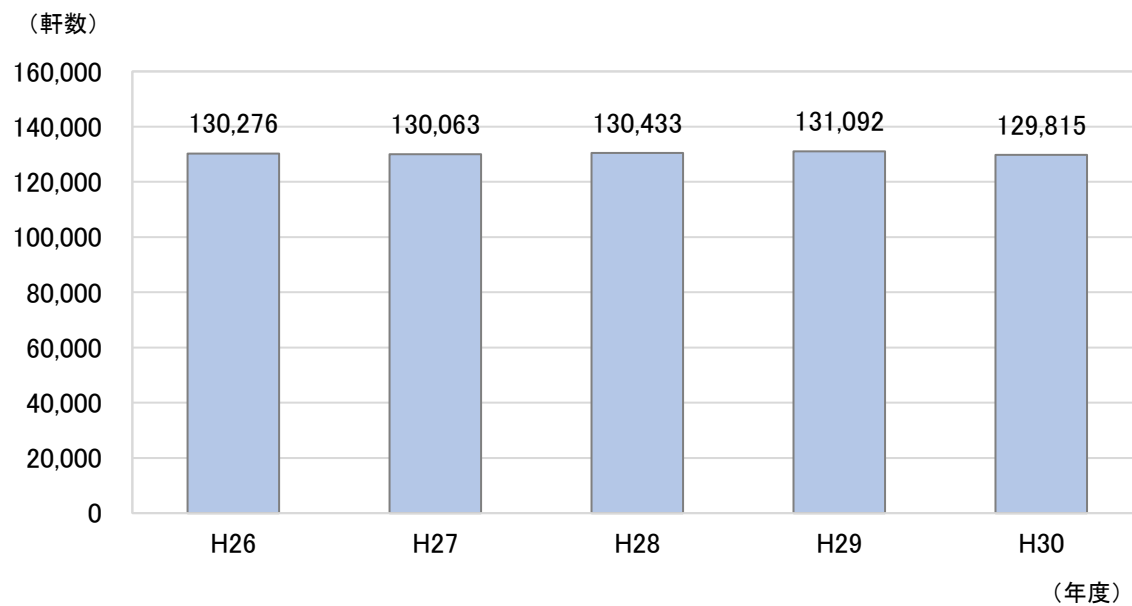
(1) 出動回数

平成30年度 59,203 回



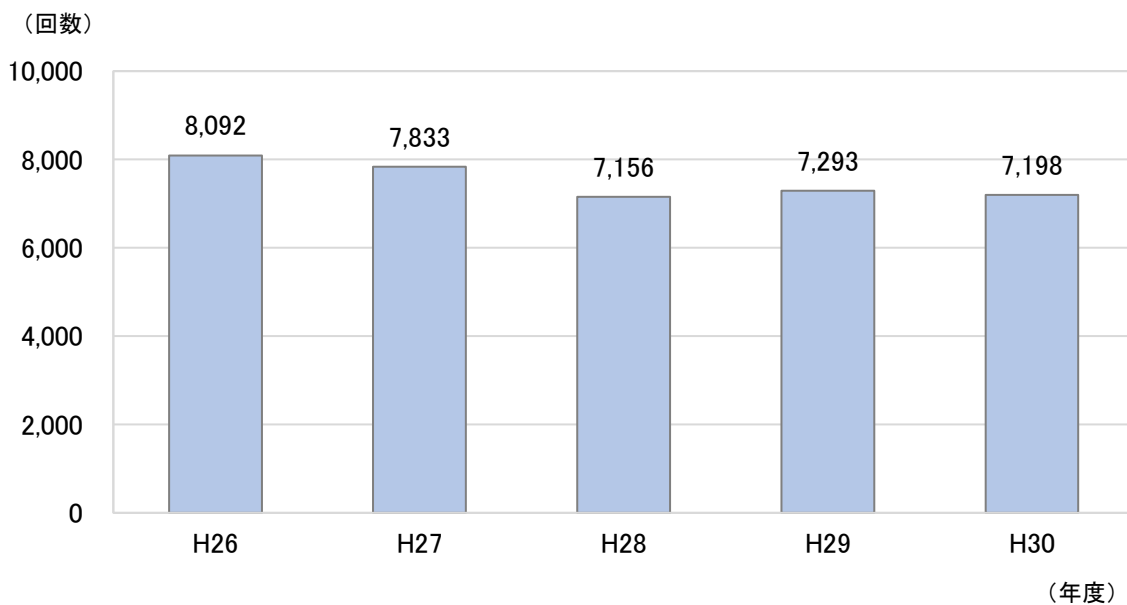
(2) 供給軒数

平成30年度 129,815 軒



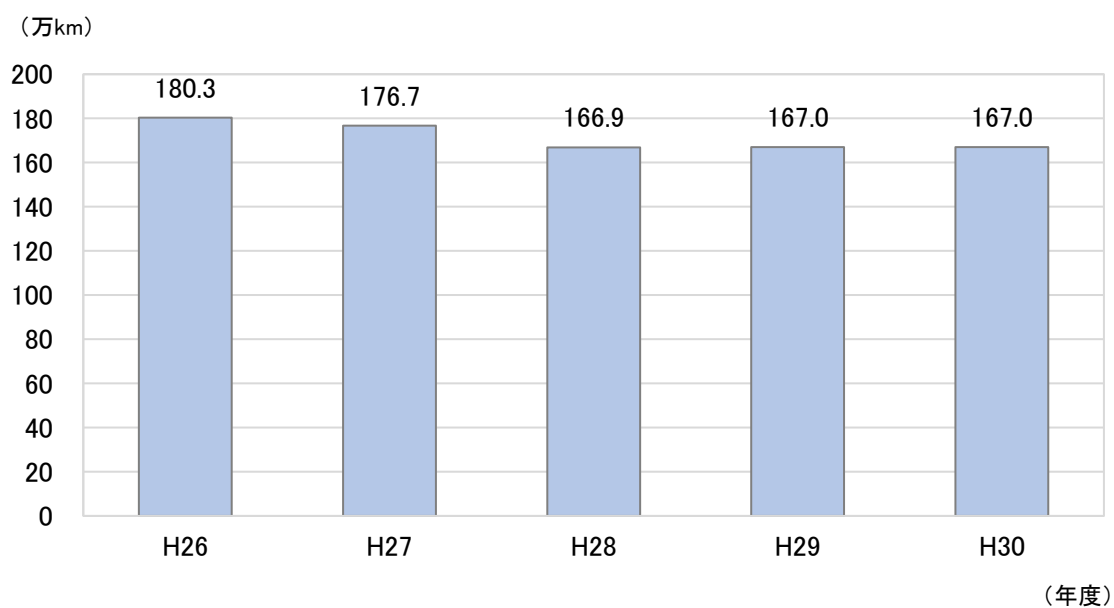
(3) 緊急出動回数

平成30年度 7,198 回



(4) 走行距離

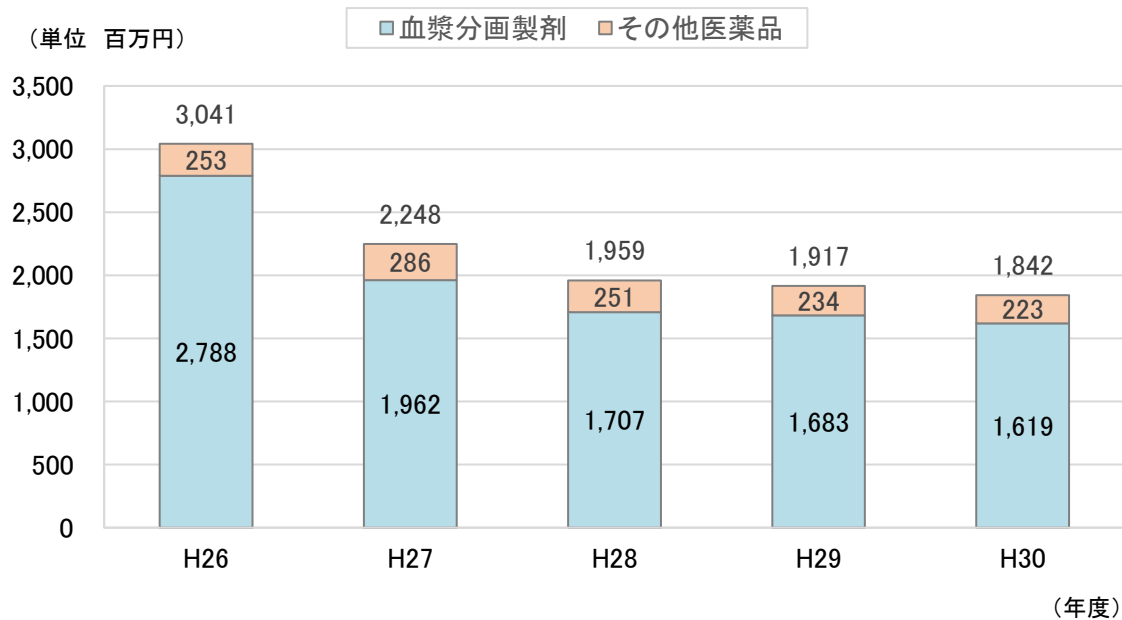
平成30年度 1,669,545 km



【 血漿分画促進部・業務報告 】

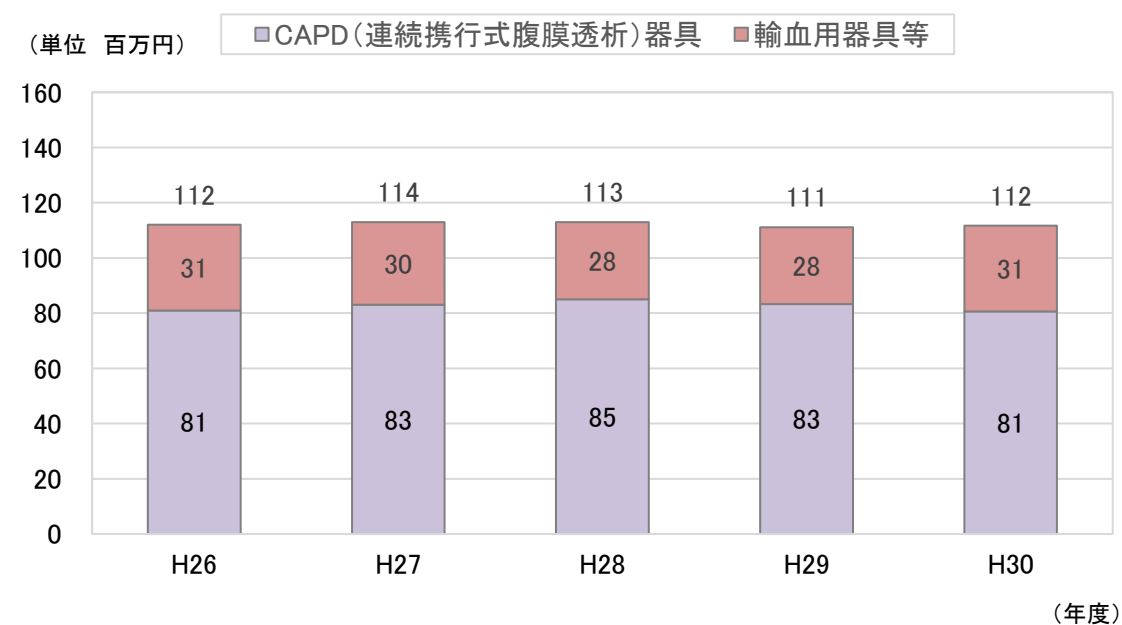
1. 血漿分画製剤、その他医薬品の総供給金額

平成30年度 1,841,861,001 円



2. 高度管理医療機器等の販売

平成30年度 111,725,526 円



3. 収益事業

【 収益事業等の業務内容について 】

概 要

血液センターの移転等により未使用となった供給基地等の物件を当事業団とは利害関係の無い第三者に賃貸している。

合計賃貸料収入19,562,000円より必要経費を差し引いた、収益の50%を公益目的事業の財源に充当した。

No.	物件	住所	賃借人	賃貸料収入 合計
1	3階建て建物	葛飾区立石	法人	19,562,000円
2	3階建て建物	練馬区早宮	法人	
3	2階建て住宅	町田市図師町	個人	
4	2階建て住宅	町田市図師町	個人	
5	マンション1室	渋谷区広尾	個人	

4. 附属明細書

1. 役員等に関する事項

事業報告1ページ～3ページに記載のとおり

2. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日等	決議事項	結果
第23回通常理事会 平成30年5月24日	第一号議案 平成29年度事業報告の件 第二号議案 平成29年度決算報告及び監事の監査報告の件 第三号議案 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件 報告事項 平成30年度の職務執行の状況について	承認 承認 承認
第24回臨時理事会 平成30年12月27日	理事会の決議があったものとみなされた事項の内容 1 平成31年3月31日をもって埼玉出張所を閉鎖し事業組織を一部変更する 2 平成31年4月1日をもって公益目的保有財産の埼玉出張所の土地・建物等に相応する現金預金を収益事業会計から公益目的事業会計に移管し、固定資産を収益事業に移管する(停止条件) 3 収益事業に移管した固定資産は不動産賃貸業に供する 4 評議員会の決議の省略についての承認の件について 5に係る評議員会の決議について、定款第25条の規定に基づき、評議員会を開催することなく、決議の省略の方法により行うこと 5 評議員会の決議事項 (1)平成31年4月1日をもって公益目的保有財産の埼玉出張所の土地・建物等に相応する現金預金を収益事業会計から公益目的事業会計に移管し、固定資産を収益事業に移管する (2)収益事業に移管した固定資産は不動産賃貸業に供する	承認 承認 承認 承認 承認
第25回通常理事会 平成31年3月19日	第一号議案 平成31年度役員報酬の件 第二号議案 供給業務委託内容等の見直しの件 第三号議案 平成31年度事業計画(案)の件 第四号議案 平成31年度収支予算(案)の件 報告事項 職務執行の状況について	承認 承認 承認 承認

(2) 評議員会

開催年月日等	決議事項	結果
第12回定時評議員会 平成30年6月13日	第一号議案 評議員会の議長及び議事録署名人選出の件 第二号議案 平成29年度事業報告の件 第三号議案 平成29年度決算報告及び監事の監査報告の件 第四号議案 非常勤理事退職慰労金支給規程制定の件 報告事項 平成30年度の職務執行状況について	承認 承認 承認 承認
第13回臨時評議員会 平成31年1月22日	評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容 1 平成31年4月1日をもって公益目的保有財産の埼玉出張所の土地・建物等に相応する現金預金を収益事業会計から公益目的事業会計に移管し、固定資産を収益事業に移管する 2 収益事業に移管した固定資産は不動産賃貸業に供する	承認 承認

3. 所管官庁への主な届出事項

届出年月日	届出事項	所管
平成30年6月20日	・平成29年度事業報告書(収支決算書)の提出	内閣府
平成30年6月20日	・変更届出書 (非常勤理事退職慰労金支給規程の制定に伴う変更届出)	内閣府
平成31年3月29日	・平成31年度事業計画書等の提出	内閣府

4. 内閣府による立入検査に関する事項

立入検査は実施されませんでした。

5. 法人の課題

該当する事項はありません。

6. その他事業報告書の内容を補足する重要な事項

該当する事項はありません。